事業者向け　　児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	0	・利用定員に対して充分なスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	2	0	・休職している職員がいる為、人手が足りないと感じる事がある。 安全面に気をつけながらサービズ提供を行うよう努める。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	3	1	・建物にエレベーターがない為、来所までに階段で上がらなけらばならない。 ・フロアーは、段差も少なく、広い空間になっている。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	0	0	・半期に一度振り返りを行っている他、毎朝の朝礼などで話し合いの機会がある。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0	・評価実施後、改善点についての話し合いを行っている。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	・HPに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	4	・外部評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	・月に1回以上社内研修を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	0	0	・アンケートや普段の様子、連絡ノートからニーズを把握し、反映するようにしている。 ・モニタリングや面談を通して作成できている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	0	・アセスメントシートを利用している。 ・活用頻度を上げていきたい。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	1	0	・地域交流は行っていない。 ・発達支援、家族支援を行い、支援計画書を作成している。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	0	0	・計画案(目標)の確認を周知した上で支援を行っている。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	・月に数回話し合いの場を設けている。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	・必ずフィードバックを行い、プログラム案の見直しを行っている。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	3	1	0	・集団活動の中でも、子どもの状況に合わせて個別対応を行っている。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	0	・朝礼、昼礼にて行っている。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2	0	・当日に行う事が難しい日もあるが、翌日のミーティングやヒヤリハット、気づいた点などの表を活用しながら行っている。

適切な支援の提供	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	・誰が読み直してもその時の状況が思い浮かぶように分かりやすく記録を取る事を心掛けている。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	・児発管を中心として定期的にモニタリングを行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1	0	・まだ開催はないが、児発管もしくは管理者が参加するようにしている。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	0	2	2	・関係機関主催の研修には参加しているが、直接的な連携はしていない。
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	2	1	・対象のお子さんがいない。 ・対象のお子さんはいないが、医療機関との連携はある。
	23	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	0	3	1	・必要に応じて移行の為の情報共有シートを作成している。また、利用者からのシートの提供がある。 ・保護者様とは図れているが、園や学校とは図れていない。
	24	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	0	2	2	・必要に応じて計画書を保護者様にお渡しし、活用してもらうよう伝えている。
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	1	3	・関係機関主催の研修には参加しているが、直接的な連携はしていない。
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	4	・行っていない。
	27	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	0	4	・会議報告書の確認は行っているが参加はできていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	・送迎時、引き渡し時等にその日の支援内容を保護者様に伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	1	2	1	・面談のタイミングで児発管が対応している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	・契約時に説明を行っている。
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	0	0	・年に2回(半年に1回ずつ)面談を行い、説明、同意を得ている。
	32	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0	・相談等があった場合は、迅速かつ丁寧に対応する事を心掛けている。 ・即答できない場合には、調べた上でお返事するようにしている。
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	4	・今年度は開催をしていない。
	34	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	・職員周知を速やかに行い、対応についての検討を行っている。

	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	・年4回UNIMO通信を配布している。 ・2週間1回ブログ(リタリコ発達ナビ)に掲載している。
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4	0	0	・研修も行っている為、充分に注意している。 ・個人情報、写真等は、施錠できる場所に保管している。
保護者への説明責任等	37	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	0	・視覚で分かるツールを利用している。 ・様子などを分かりやすくお伝えするよう心掛けている。
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	4	・行っていない。
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	0	0	・研修、訓練ともに行っている。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0	・研修、訓練ともに行っている。
	41	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	2	2	0	・てんかん発作は、アセスメントシートに記入して頂いたもので把握している。 ・予防接種までは確認できていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	1	3	・食事の提供がないので把握できていない。 ・イベントの景品でお菓子を配際は保護者様に確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1	0	・ヒヤリハット事例集を作成し共有できるようにしている。また、研修にも組み込み、再度職員全体で確認をしている。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	・虐待を防止するための研修を行っている。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	0	0	・契約時に説明をしている。